

南知多町公共施設再配置計画 地区別説明会・意見交換会

篠島地区

テーマ

確認しよう！公共施設再配置計画案
～ほしい未来は、自分たちで～

9月20日午前10時～正午、篠島開発総合センターで、第2回地区別説明会・意見交換会を開催しました。

参加者は7名。町長挨拶から始まり、事務局から篠島地区の30年後の再配置プランを説明しました。少人数で意見交換を行った後、全体で意見共有と質疑応答を行いました。

1 町長あいさつ



石黒町長

公共施設再配置計画は、町民アンケートや町民討議会等で町民の意見を取り入れながら、昨

年から検討を進めてきました。人口減少、財政面の課題を踏まえながら、町として固めた案を今日初めて披露させていただきます。

令和35年、30年後の世代のためのご意見をいただき、皆さんと一緒に計画を作り上げていきたいと思いを

2 再配置計画案の説明

事務局より、再配置計画案の考え方、30年後の篠島地区の再配置プランの説明がありました。



★公共施設の削減目標は？

令和35年度までに公共施設総延床面積の約50%である50,000㎡を削減します。

★再配置の考え方は？

①機能と建物は分けて検討、②人口減少等を踏まえ適正規模での配置を検討、③地区に1つ残したい機能と町全体で残したい機能を確保、この3つの考え方を基本としています。

★篠島地区の公共施設の30年後は？

・篠島地区の30年後の再配置プラン案は最終頁をご覧ください。

・当日の事務局説明の様子(録画)は、こちらのQRコードからご覧いただけます

南知多町公式
YouTube



3 意見交換

事務局の説明を受けて、2～3人で、再配置計画案の確認、意見交換を行いました。



4 全体共有・質疑応答

2～3人での意見交換の結果を全体で共有しました。質問に対しては、事務局から回答を行いました。

 : 事務局

 : 町民



旧耐震やアスベストの対応は？

町が保有する公共施設は全てアスベスト対応済です。

全部まとめて高台に複合施設を。

旧篠島小学校を活用。

お年寄りに優しい施設を。

防災センターに詰所やサービスセンターを複合化

バリアフリー化やアクセシビリティも検討します。

施設の更新時期には、複合化を考える必要があると思います。

最低限小学校だけは残してほしい。

壊すだけでなく新しい建物を作る

人口に見合った規模のものを。

廃止は良いが、解体せず放置は良くない。

放置にならないよう計画します。

篠島をより良く、日本のモデルケースにしたいが、マンパワー不足。

町役場の職員と協力して取り組みたい。

ひとことアンケートより

もっと話が聞きたい。／沖に出てるのもあるが、島の人に関心が無いのがよく分かった。／参加した方々は、島の先を考えているのでは。／南知多（篠島）も将来が心配。／施設を減らしていくことが現実なんだなとわかった／わたしたちの世界を変革すること。CHANCE THE SHINOJIMA

南知多町 総務部 企画財政課企画政策係

電話：0568-65-0711（内線：326）

担当：相川・山下・松本

篠島 30年後

南知多町 公共施設 マップ



地区利用施設

- 2** 篠島開発総合センター
⑨ 篠島サービスセンター
地区利用
目標残耐用年数 37年
貸スペース
サービスセンター
維持 1014.0㎡
- 23** 篠島海船ターミナル (島の駅 SHINOJIMA)
地区利用
目標残耐用年数 70年
フェリー乗り場
売店
維持 489.8㎡
- 30** 篠島小学校
- 35** 篠島中学校の校舎を利用した篠島小学校
地区利用
目標残耐用年数 36年
NEW
小学校
維持 2764.1㎡
- 37** 旧篠島小学校 (廃止)
- 54** 篠島診療所
地区利用
目標残耐用年数 49年
診療所
維持 199.8㎡
- 63** 篠島防災センター
地区利用
目標残耐用年数 73年
防災センター
維持 194.6㎡
- 79** 第4分団 (篠島)
地区利用
目標残耐用年数 39年
消防団員が利用するスペースと車庫
維持 228.4㎡

その他施設

- 38** 篠島教職員住宅 (浦張)
- 39** 篠島教職員住宅 (汐味)
- 84 85** ⑭旧篠島ごみ焼却場 (廃止)
⑮旧篠島し尿処理場 (廃止)
の敷地にストロークアパートを新築
その他利用
目標残耐用年数 新
建築予定
新築 70㎡
- 85** 旧篠島し尿処理場 (廃止)

地図内凡例

- 地域中心拠点
- 土砂災害特別警戒区域
- 津波災害警戒区域基準水位
- 5.0m以上
- 3.0m以上 5.0m未満
- 2.0m以上 3.0m未満
- 1.0m以上 2.0m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 0.5m未満

※令和元年7月豪州指定津波災害警戒区域における基準水位

施設カード内凡例

- 文化機能** 明治時代からある町の重要な文化財
- 学習・交流機能** 町民が利用できる会議室や調理室
- 運動機能** 町民が利用できる体育館や運動公園
- 福祉機能** お年寄り可以利用できる会議室
- 子育て機能** 保育園や子育て支援が受けられるところ
- 学校教育機能** 小中学校や学校運営に必要なところ
- 行政機能** 役場や地区のサービスセンター
- 防災機能** 防災センターや消防団の車庫と集会所
- 社会教育機能** 本を借りるところや資料館
- 観光機能** 観光客が訪れるところやフェリー乗り場
- 医療機能** 島の診療所や保健センター
- 公営住宅機能** 町が管理する住宅
- その他機能** 駐車場や生活に必要なインフラ

地域中心拠点

避難所指定

利用者数 10人 100人 1,000人 10,000人 100,000人

目標残耐用年数 ~29年 30~49年 50年~

土砂災害特別警戒区域 津波浸水区域

